



茶屋町画廊企画 チェーンソーアート世界チャンピオン 城所 ケイジ 作品展

協力：家具 /G ワークス・サウンド /AWAYA・映像 / 赤木 正和

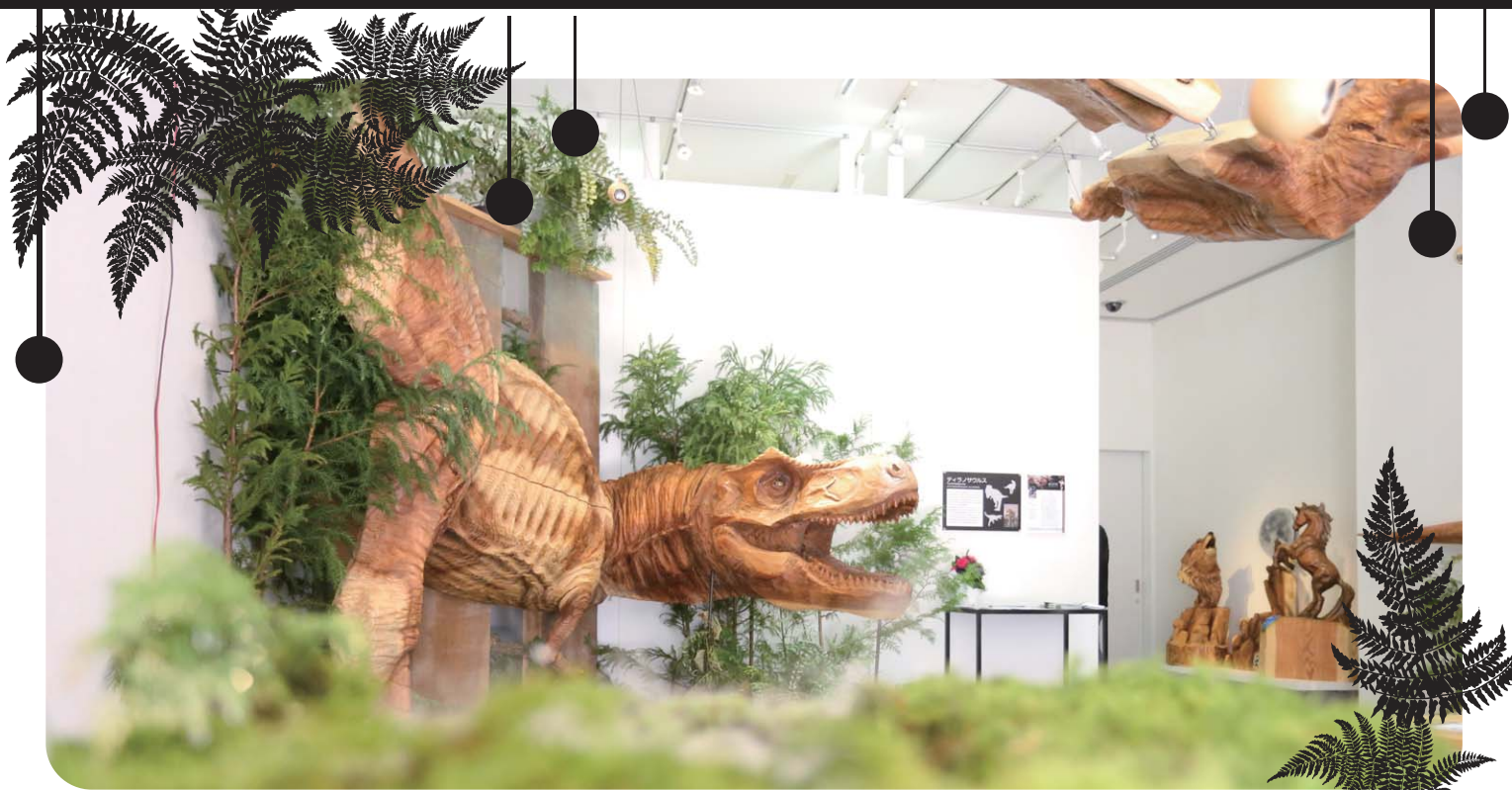
【作家略歴】

- 2000年 彫刻(チェーンソーアート)をはじめ
- 2001年 USA・MASTERS OF THE CHAINSAW 公式メンバーとなり、巡業修業(～2005年)
- 2003年 日本 全国大会 優勝
- 2004年 イギリス 国際大会 入賞
- 2005年 アメリカ 国際大会 優勝
- 2006年 日本 世界大会 優勝 / ドイツ 国際大会 準優勝
- 2007年 ドイツ 国際大会 優勝 / きのくに技能奨励賞 受賞
富山県いなみ国際木彫刻キャンプ 日本代表
- 2008年 ドイツ 世界大会 優勝 競技参加を引退
- 2011年～東日本大震災被災地を巡礼彫刻
龍王プロジェクト 11ヶ寺、2神社へ奉納(～2012年)
- 2013年 THE 世界一展 ゲスト(うめきたグランフロント大阪)
美術家 山口啓介氏 hakobune プロジェクトコラボ
(福島県 いわき市美術館)



木彫刻・立体造形作家
城所 ケイジ
KIDOKORO Keiji

I am a Chainsaw carver!
We love the forest.



01. 展覧会風景、幅約4メートルのプテラノドンが羽を広げる。カフェテーブルはGワークスさんより。02. 巨大彫刻より比較的小さめの作品。毛並までも細かく表現されている。03. 瓢箪から生まれたオトダマオトスケ(スピーカー)から恐竜の鳴き声が…!



04.05. 道行く人がつい頭を撫でてしまうお手伝い中のこぐまちゃん。うるうるとした上目使いの可愛さに、思わず惹かれてしまいます。06. 城所さんとAWAYAさんのコラボレーション作品。地球をイメージして作られたもので、ゆらぐオーラがとても神秘的。

今週の展覧会は『チェーンソーアート 世界チャンピオン 城所 ケイジ 作品展』のご紹介です。会場の彫刻作品はチェーンソーアート作家の城所ケイジさんが制作し、家具/Gワークス・サウンド/AWAYA・映像/赤木 正和さんが展示に協力して頂きました。

展覧会にて使用されている木材は、みなさんが活動拠点とする「龍神村」の山々を守るため適切に伐採された杉(紀州・龍神材)を用いて制作されています。その為、チェーンソーアートは『魅せる林業』ともよばれています。

「木を彫刻する」と一言で述べると、ノミを持ちハンマーで形を削るなどの彫刻刀をはじめに思い浮かべますが、展示作品に使用されている道具は、木を切り分ける道具として使用されているチェーンソーです。今回、彫刻作品だけではなく制作場面のプレイ映像を観ると一本の丸太から切り出すという、とてもダイナミックな印象がありますが、作品の仕上がりを見ると身体のバランスや表現力の高さ、鱗や毛並などの繊細な表現にかなりのテクニックが必要とされている事に気づかされます。素材は全く違いますが、かつて「大理石の中にはまり込んだまま、彫刻家の手で解き放たれることを待っている」と石を見て云ったミケランジェロの言葉を目の当たりにしている様でした。彫刻家が何週間、何ヶ月と時間を掛けイメージを練り上げ作品を仕上げるといふ孤独なイメージを覆すようなスピードと迫力、まさに『魅せる林業』と呼ばれる由来とも言えます。